

学校だより

プラタナス



令和3年4月16日(金)

市川市立市川小学校
No.3 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



見よう、聞こうという心を耕すのは大人と本人の共同作業！

111名の新入生を迎えて令和3年度がスタートして早一週間が過ぎました。子供たちのワクワク感がさらに大きく膨らんでいるといいなあと思いながら教室を見て回っています。

ずっと以前に、ある塾の前を通りかかったとき、「やる気スイッチ」という文字の入ったポスターを見たことがあります。あるときは、「いつになったらやる気のスイッチが入るのでしょうか？」と、保護者の方から相談されたこともあります。この「スイッチ」って誰が入れるのでしょうか。始業式では、東井義雄氏（教育者）の『心のスイッチ』という詩を子供たちに紹介しました。

『心のスイッチ』 東井 義雄

人間の目はふしぎな目 / 見ようという心がなかったら見えても見えない
人間の耳はふしぎな耳 / 聞こうという心がなかったら聞いていても聞こえない
頭もそうだ / はじめからよい頭わるい頭の区別があるのではないようだ
「よしやるぞ！」と心のスイッチがはいると / 頭もすばらしいはたらきをしはじめる
心のスイッチが人間を / つまらなくもするしすばらしくもしていく
電灯のスイッチが / 家の中を明るくもし暗くもするように

この東井氏は、著書の中でこんなふうにも記しています。「人間は5千通りの可能性をもって生まれてくる。その可能性から、どんな自分を取り出していくか。皆さん一人一人がその責任者なんですよ。世界でただ一人の私を、どんな私に仕上げていくのか。その責任者が私であり、皆さん一人一人なんです。」と。

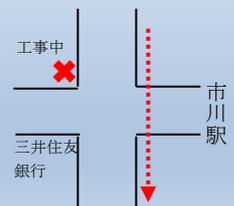
様々な可能性を秘めた子供たちの能力を眠らせたままにしてはなりません。焦る必要はありませんが、この4月は、スイッチを入れるよいタイミングだと考えています。

子供たちの「心のスイッチ」や「やる気スイッチ」を保護者や地域の方々と一緒に探したり On(オン)にしたりしていくと同時に、子供たち自身が自分のスイッチに気づいて、自分を育てることができるようにしていきたいと思います。東井氏が語るように、私たち大人が当事者意識をもって子供たちと関わるのが求められているといえるのです。「見ようという心」「聞こうという心」を耕していきましょう。

通学路が追加されました

市川駅北口の三井住友銀行向かい側にあるビル建設工事に伴い、昨年度同様、歩道が狭くなるとともに見通しが悪くなります。

そこで、グランドホテル側の歩道を学校前の横断歩道まで通学路として申請し、認可がおりました。登下校のルートをお子さんと確認してください。





詳細は学年だよりをご覧ください。



検査による早期発見・早期治療が大事です。できるだけお休みしないようにしてください。

19	月	聴力検査②	6	木	朝会、通学路確認、家庭訪問 ㊿
20	火	避難訓練	7	金	通学路確認、家庭訪問 ㊿
21	水	耳鼻科検診③⑤、聴力検査①	11	火	視力検査週間
22	木	聴力検査③	12	水	耳鼻科検診①⑥
23	金	1年通常日課開始、聴力検査⑤⑥	13	木	歯科検診①②⑥⑥、PTA 運営委
27	火	内科検診③	18	火	心電図検査①④
28	水	学級懇談会(授業 VTR 視聴含む)	19	水	委員会活動
30	金	1年生を迎える会	22	土	運動会

今年実施するの？

■ 全国学力・学習状況調査 ■

期日 **5月27日(木)**

目的 ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証・改善する。

②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

③取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

対象 6年生・中学3年生

教科 国語科、算数科

その他 *2年生以上は、同じ日に業者学力テストを実施し、学習の定着度を測り個別指導を充実するとともに指導改善に役立てる。
*昨年度の実施はなし。(例年は4月実施)

■ 避難訓練 ■

期日 **4月20日(火)**

方法 第1回目は、避難経路の確認が主な目的です。大規模災害はいつ起きるかわかりませんので、密になることを想定して、避難の仕方や個々の意識など実際に近い形で、今年度は全校一斉で実施します。



(一) 上の写真は、市川駅北口オリンピック前のT字路です。歩行者用信号が全青になることにより、学校へ向かう児童と駅へ向かう自転車とが接触する事故が起った危険箇所です。行政と警察により、看板設置がされました。しかしながら、人間の意識が変わらないことには改善とは言えません。我々大人がルールを守るとともに、子供たちの対応力育成に力を注ぎたいと思います。

(二) 下校時の14号門周辺は危険箇所です。門を飛び出す児童と歩道を往来する歩行者や自転車とが接触することが考えられますし、信号待ちの多くの児童で、歩道が埋まって通行を遮断している場合もあります。注意喚起のゼブラゾーンの効果のほどは？

